

八月二五日

昨夜は熱帯夜で寝苦しかった。十時研究室全体ミーティング。各プロジェクトについて概略の考えを述べる。

八月二六日

九時十勝後藤さんと打合わせ。やっぱり依頼主と直接会って話している、私の方も色々なアイデアが生まれてくる。十時十五分修了。十二時食事。天ぷら・せいり・大盛り。まだ大盛りと自然に言ってしまうが、少々腹にはこたえる。十三時ドイツ・デッソウのバウハウス財団の学生来訪。十三時半、ゼミナル、3Dフェイズ、アポロ十三号バッキーフラァー・イン・チャイナ、他。十五時修了。日刊工業新聞来室。今度は原稿書かねば駄目だな。打ち合わせを幾つかして、十八時半研究室発。十九時青山さくらで会食。鈴木博之、安藤忠雄、伊藤毅、難波和彦。二十二時過散会。今日の会合では二年後にアイルランドの温泉に行こうというのが決まった。幹事は難波さんとなった。アイルランドの温泉ではタオルは変色するのかが話しの中心になったが、そんな事よりも石鹸はどんな種類のものが良いのか、どうなのかが方が問題であろうと、言うのが私の心配ではある。この問題が真剣に論議されながら、遂に結論が得られなかったのが、本日の会の限界ではなかったか。残念である。又、露天風呂はあるのか、無いのか。その深さはどうなのか等も心配ではある。

八月二七日

今日は昼過に山口勝弘先生訪問を予定しているので、朝はゆっくりしている。日用雑貨づくりに、森正洋先生、山田脩二の品を加える事にしたので、そのコピーを書く。興が乗って、長文になってしまった。何やってるのかネエ。我ながら、あきれ返っている。

「森正洋、山田脩二、第一ラウンド」

十三時過、東急田園都市線多摩プラザに山口勝弘先生を訪ねる。壁に沢山の絵「宇宙」シリーズが架けられている。今突然金閣寺にのめり込んでいると言う。建築家は誰も金閣寺について述べないねと突っ込まれてしまった。

山口勝弘さんが突然病を得て、多摩プラザに引きこもってからの作品に大きな関心がある。先生は室にあるモノ、書いているメモ、スケッチ、そして宇宙シリーズの作品、新たな金閣寺のテーマ何でも写真撮って良いからと、言っ下さつた。凶に乗って時々訪ねて、私のHP内に山口勝弘ギャラリー on THE TIME を開設してみよう。五体満足、順風万帆の芸術家などには興味が無い。不満足な身体、そして逆風に次ぐ逆風時の芸術家くらい、その芸術家の本性、精神世界が浮き上がるものだ。山口勝弘の今に重大な関心を寄せるのはその故である。山口勝弘自身の言葉によれば、山口さんは今、ここに「幽閉されている」のだそうだ。身体に障害を得た人は多かれ少なかれ、そんな自覚を持つのだろう。閉じ込められて、具体的に自由では無い実人生に入って、人間は初めて強く自由を渴望するのではないか。障害は熱列に自らの精神世界の自由を、芸術家をして描かしめる。

「自分の病気が治りつつある状態を描いているのが宇宙シリーズ

八月二五日

昨夜は熱帯夜で寝苦しかった。十時研究室全体ミーティング。各プロジェクトについて概略の考えを述べる。

八月二六日

九時十勝後藤さんと打合わせ。やっぱり依頼主と直接会って話している、私の方も色々なアイデアが生まれてくる。十時十五分修了。十二時食事。天ぷら・せいり・大盛り。まだ大盛りと自然に言ってしまうが、少々腹にはこたえる。十三時ドイツ・デッソウのバウハウス財団の学生来訪。十三時半、ゼミナル、3Dフェイズ、アポロ十三号バッキーフラァー・イン・チャイナ、他。十五時修了。日刊建設通信新聞来室。今度は原稿書かねば駄目だな。打ち合わせを幾つかして、十八時半研究室発。十九時青山さくらで会食。鈴木博之、安藤忠雄、伊藤毅、難波和彦。二十二時過散会。今日の会合では二年後にアイルランドの温泉に行こうというのが決まった。幹事は難波さんとなった。アイルランドの温泉ではタオルは変色するのかが話しの中心になったが、そんな事よりも石鹸はどんな種類のものが良いのか、どうなのかの方向が問題であろうと、言うのが私の心配ではある。この問題が真剣に論議されながら、遂に結論が得られなかったのが、本日の会の限界ではなかったか。残念である。又、露天風呂はあるのか、無いのか。その深さはどうなのか等も心配ではある。

八月二七日

今日は昼過に山口勝弘先生訪問を予定しているので、朝はゆっくりしている。日用雑貨づくりに、森正洋先生、山田脩二の品を加える事にしたので、そのコピーを書く。興が乗って、長文になってしまった。何やってるのかネエ。我ながら、あきれ返っている。

「森正洋、山田脩二、第一ラウンド」

十三時過、東急田園都市線多摩プラザに山口勝弘先生を訪ねる。壁に沢山の絵「宇宙」シリーズが架けられている。今突然金閣寺にのめり込んでいると言う。建築家は誰も金閣寺について述べないねと突っ込まれてしまった。

山口勝弘さんが突然病を得て、多摩プラザに引きこもってからの作品に大きな関心がある。先生は室にあるモノ、書いているメモ、スケッチ、そして宇宙シリーズの作品、新たな金閣寺のテーマ何でも写真撮って良いからと、言っ下さつた。図に乗って時々訪ねて、私のHP内に山口勝弘ギャラリー on THE TIME を開設してみよう。五体満足、順風万帆の芸術家などには興味が無い。不満足な身体、そして逆風に次ぐ逆風時の芸術家くらい、その芸術家の本性、精神世界が浮き上がるものだ。山口勝弘の今に重大な関心を寄せるのはその故である。山口勝弘自身の言葉によれば、山口さんは今、ここに「幽閉されている」のだそうだ。身体に障害を得た人は多かれ少なかれ、そんな自覚を持つのだろう。閉じ込められて、具体的に自由では無い実人生に入って、人間は初めて強く自由を渴望するのではないか。障害は熱列に自らの精神世界の自由を、芸術家をして描かしめる。

「自分の病気が治りつつある状態を描いているのが宇宙シリーズ

なんだ。」と山口さんは漏らした。自分でも無意識の中で描いている抽象的な絵画の意味を、山口さんは知りたかったのだろう。「この線は僕の体の血管だったんだよ」「バックの宇宙の色が段々明るくなってきているのは、体が回復している証しなんだ。」

最良の芸術家は絶対的に自分を信じている。誰が何を言おうと。山口さんは宇宙シリーズの絵画群に自分の身体内宇宙を、希望にダブらせて幻視しようとしている。この、生命への渴望は凄いと思う。「禅宗の言葉、不生不滅が今はよく解る」とも述べた。生まれなければ死ぬことも出来ぬと言う絶対矛盾を内包した寸言である。同時に「僕は遅れて生まれてきたシュプレマティスト」なんだとも言明された。沢山のインスピレーションを話されたが、今は整理しない。

「石山さん、この頃面白い本ない。」と尋ねられたので、答え難い質問だなと思ったが、「アンダーグラウンド、とグロテスクが評判です」と読み易いのを二つあげたら、たちどころに「もっと、ハードな奴だ」と一笑に附されてしまった。今度来る時は、ランクを上げた読書をして来たい。「日本のじゃなくて、世界の……本だよ」だって、国際派と附合うのは実にしんどいのだ。

磯崎新の建築における日本的なモノ、への感想はどうだと尋ねられたが、即答は避けた。少し整理して次回に述べてみたい。何しろ生まれ故郷淡路の一宮神社が隠れの宮と呼ばれていて、いざなぎ、いざなみが幽閉されたという神話を説く人だから、磯崎の伊勢論、つまりバーチャルな人工神話の起源の一つである伊勢、当時の仏教という、アジア圏グローバリゼーションに対する、バーチャルな天皇国家のねつ造の必要性への意志という磯崎説とは

別の世界を思い描いてはいるのだろう。山口さんには簡単な事は言えない。